

第 17 回理事会

12 月 22 日 午後 5 時～6 時 30 分

木下会長、吉本・小田副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・田中(義)・萬・田中(豊)各常任理事、武藤・田村・河村・城甲・茶川・山縣・林各理事、山本・武内・藤野各監事

協議事項

1 平成 24 年度予算編成の基本方針・日程について

国・県とも財政は依然として厳しい状況である。本会においても、既存の事業についてもスクラップ＆ビルドを行うこと、全体としては前年度の事業規模を目途とし、個々の事業費の見積に当たっても前年度の決算見込額より過大とならないようにすることとなった。

2 「山口県医師会弔慰金支給規程」の弔慰金の額について

先般開催された郡市医師会会長会議において、第二号会員及び第三号会員の弔慰金額について意見が出されたので、再協議した。

3 TPP と医療に関するチラシについて

TPP が及ぼす医療分野への影響について、一般市民にも分かりやすく説明した広報が必要であることから、対外広報用のチラシを作成することを決定、概要を協議した。

4 平成 23 年度潜在看護職員再就業支援研修会に対する助成について

昨年度は日本医師会のモデル事業として実施された本研修会であるが、防府医師会において本年度も引き続き実施することとなったため、その助成金等について協議し、県医師会の後援事業とすること及び助成金の拠出をすることとした。

5 優良看護職員及び優良助産師の厚生労働大臣表彰受章候補者の推薦について

厚生労働省医政局長より、標記表彰にあたり、多年にわたり看護業務に献身し、顕著な功績のあった現に保健師、助産師、看護師又は准看護師として就業している者の推薦依頼があり、協議を行い 1 名を推薦することとした。

6 意見書の採択を求める請願書について

11 月定例山口県議会に提出していた請願 2 件の対応状況が報告された。

7 認知症疾患医療センター研修会開催に係る共催について

山口県立こころの医療センターより、県内における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的とした標記研修会を開催するにあたり、共催の依頼があり、協議を行い了承した。

人事事項

1 山口大学医学部附属病院医療人育成センター地域医療支援部門会議委員について

山口大学医学部附属病院は 10 月 1 日付で「医療人育成センター」を開設し、医師及び看護師等の養成機関としての責務に加え、多様化する医師等のキャリアパスに対応し、病院に勤務する全医療人のキャリア形成と定着の促進に寄与するための支援に取り組むこととなった。研修医・専門医支援部門、地域医療支援部門、男女共同参画支援部門、コメディカル育成支援部門の 4 部門で構成され、地域医療支援部門への委員推薦依頼があり、了承された。

報告事項

1 郡市医師会医療廃棄物担当理事協議会・医療廃棄物適正処理講習会（11 月 24 日）

標記協議会において医療廃棄物三者協議会の報告及び質疑応答等が行われた。また、講習会において講演「廃棄物処理法について」（山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課 上原正義 技師）「医療廃棄物処理と電子マネーフェストについて」（山口県産業廃棄物協会 児嶋高英 事務局長）及び質疑応答が行われた。出席者 125 名。（西村）

2 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会（12 月 8 日）

日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告、都道府県医師会からの医療事故紛争対策と活動状況の報告及び質疑応答が行われた。（西村）

3 日本の医療を守るための総決起大会（12 月 9 日）

国民医療推進協議会会長である原中日医会長と協力団体の野中 博東京都医師会長の挨拶、来賓として、鈴木克昌民主党筆頭副幹事長他、多数の国会議員から挨拶が行われた。横倉副会長から趣旨説明と「受診時定額負担の導入に反

対する署名運動」の署名を衆参両院議長に手渡したことが報告された。大久保満男日本歯科医師会会長、児玉孝日本薬剤師会会長からの決意表明、山崎學日本精神科病院協会会長が決議案を提案し、満場の拍手をもって採択された。最後に羽生田副会長による「頑張ろうコール」が行われ盛会であった。参加者は約 1,000 名。(杉山)

4 山口県介護保険研究大会(12月11日)

山口県総合保健会館「多目的ホール」等において開催。基調講演「大災害時における要援護者への対応について」(講師：長岡中央総合病院 八幡和明副院长)及び研究発表等を実施。参加者 534 名。(河村)

5 全国健康保険協会第4回山口支部健康づくり推進協議会(12月14日)
平成23年度の状況及び来年度の計画が協議された。(山縣)

6 衛生検査所立入検査「下松」(12月14日)
立入検査を実施し、状況確認等を行った。(田中豊)

7 新規医療機関個別指導「山口地区」(12月15日)
病院1機関、診療所9機関について実施され立ち会った。(田村、河村)

8 第7回山口県後発医薬品使用促進連絡会議
(12月15日)

病院・診療所・薬局の後発医薬品採用基準整備状況について(アンケート結果報告)及び平成23年度後発医薬品セミナーの開催等について協議を行った。(西村)

9 第1回山口県へき地医療専門調査会(12月15日)
山口県第11次へき地保健医療計画の各主体の役割分担・スケジュールについて、代診医派遣の拡充、総合医の養成について協議した。(弘山)

10 山口大学教育研究後援財団第21回評議員会・第20回理事会(12月16日)
公益法人化に向けての定款変更案等の審議がされた。(木下)

11 山口県医師会産業医研修会・山口県医師会産業医部会総会(12月17日)
特別講演2題及び平成23年度産業医部会総会を開催した。参加者 115 名。(河村)

12 マンモグラフィ検診読影医師講習会

(12月17～18日)

カリキュラムに則って講習会を開催した。受講者 45 名。(小田)

13 TPP から食・農業・地域を守る山口県大会

(12月18日)

山口県農業協同組合中央会では、TPP に反対し、県民各層と連携して TPP から食・農業・地域を守り、安心して暮らせるふるさと山口を創っていくために山口県大会を開催。後援者代表として連帯挨拶を行った。東京大学大学院の鈴木宣弘教授「経済連携の進展と今後の農業振興について」の基調講演があり盛会であった。参加者は約 800 人。(木下)

14 山口県新型インフルエンザ対策協議会

(12月19日)

国の行動計画に準じて、山口県新型インフルエンザ対策行動計画の改定と協議会設置要綱の改正について協議した。(濱本)

15 山口県立病院機構評価委員会(12月20日)

評価方法案について協議した。(小田)

16 勤務医部会第4回企画委員会(12月21日)

2 月に開催する勤務医部会主催のシンポジウム及び今年度計画している市民公開講座等について協議した。(城甲)